

R.I. District2610, ROTARY CLUB OB UOZU

魚津ロータリークラブ会報誌

2011 - 2012年度 RI会長 カルヤン・バネルジー
2011 - 2012年度 魚津RC会長 寺崎 明博



2011 - 7 - 29

第2787回 ゲスト卓話例会報告

- 1、点鐘・握手
- 2、ロータリーソング「我等の生業」
- 3、ゲスト並びにビジターの紹介
 - ・魚津工業高校 富岡 政裕先生
 - ・魚津工業高校 板川 努さん
 - ・高頭 昂大(たかひろ)さん
- 4、誕生祝 7月29日 清水君
- 5、寺崎会長挨拶



皆さん、こんにちは。今日は魚津工業高校からゲスト卓話に来ていただいております。

今、日本は政治、経済ともに大変な状況にあることは皆さんも、ご承知のとおりであります。今年の3月始め頃は、日本経済も上向き状態と報道され、株価も上昇傾向にあったのが東日本大震災による原発問題、そして電力不足。今日の円高、

政治の混迷。どこを見ても明るい兆しが全くありません。今日、魚津工業高校の皆さんに来ていただき、若い世代の意見を聞き、また私たちが、応援をしてあげたいと考えております。

今日は、板川君 よろしくお願いたします。

6、幹事報告

- ・羽咋ロータリーより 事業計画書が来ています。
- ・富山財務事務所より 卓話での講師派遣について
- ・魚津市より、魚津市美術展の後援の依頼
- ・全日本大学女子野球選手権大会実行委員会より、開会式の案内

7、出席報告

本日の出席34名 出席率 97.14% 欠席者1名 メークアップ済 広浜君、松田君
2785回のメークアップ 金山君 修正出席率 91.42を94.28%になりました。

8、ニコボックスの報告

羽田陸朗君より、今日も遅刻をしました。

吉森君より、出席委員長を1年間しますのでよろしくお願い致します。

小浜君より、ニコニコボックス委員長をしますので、よろしくお願い致します。

他の委員長の皆様にもよろしくニコボックスをお願いします。

9、委員会報告



大島会員委員長より、

8月は会員増強及び拡大月間ですので、卓話があります。

この例会終了後、委員会を開催しますので委員の皆さん出席してください。

10、本日の卓話

ゲスト 魚津工業高校 板川 努さん

”高校生活での貴重な体験” (全文)



緊張した面立ちで入学してきたことがつい先日の様に感じほど、私の高校生活はあっという間に進んでいます。

今、この高校生活を振り返ってみると、私は他の人ではあまり経験することの出来ない貴重な体験をさせているのだと感じました。

その例として、私はこの2年間で二回海外へ渡航する機会をいただきました。一回は二年生の夏に中国大連市で行われた五カ国環境会議に参加し、そこで多くのことを学びました。

一つは環境についてです。この会議で私は自分の視野の狭さと日ごろ利己的に生きているという事を痛感させられました。なぜなら、日本で暮らしている私は凄く幸せな生活を送っているからです。モンゴルの高校生の発表を聞き胸が痛くなりました。モンゴルでは今、人口増加により急激な水不足が進んでいます。そのため料金の値上げを繰り返し、水が重宝されていることを知りました。私たち日本人は毎日風呂に入り、顔を洗い、蛇口をひねればいつでも水が使えます。しかし、この自由さ故に水の大切さを分かっていないのだと思います。近辺のアジアの国がこんなにも水不足で苦しんでいることも知らず、また当たり前のように無駄に水を使っている生活をしてきたことが恥ずかしかったです。私がこの問題に対して出来ること、それは、意識して水を使うことだと思います。具体例を挙げれば、水の出しっぱなしをしないことや風呂水の使いまわしなどのように、一人ひとりでは些細なことでもみんなが意識すれば絶対無駄使いはなくなると思います。いや、無くさなければいけません。

二つとして人とのコミュニケーションをとる大切さや面白さを学びました。私は英語が堪能ではありません。それに初めての海外ということで大きな不安を抱いていました。しかし、他国の人人と実際に交流を交わしてみると、「あれっ」と感じるほど短期間で交流を深めることが出来た事を覚えています。あまり深い内容の話をした訳ではありませんが、交わした会話一言一言、あいさつの一つ一つが私にとってとても嬉しく感じられ、心に残っているから今でも強くそのことを覚えているのだと思います。それと、英語が出来なくても色々な方法で自分の思いを相手に伝えたり、相手の言おうとしていることを理解してあげようと努力すべきだと考えました。正直、

相手が何の話をしているのかなんてサッパリ分かりませんでした。でも、話しているときの表情、体の使い方やジェスチャーで大体のことを把握することができました。英語をペラペラに話すことが出来ればスムーズに物事を進めることが出来るでしょう。でも苦労して会話のやりとりを進めた方がより親密に意思を伝えることができ、より強く相手の意思が心に残ってくれます。だからこの経験が今でも忘れられないのだと思います。

現代の社会環境の中では、グローバル社会と呼ばれ、私たちは世界の情報を様々な方法で入手することが出来ます。しかし実際に海外に出向き他国の人と会話する機会は希少なものだと感じています。しかし、今後は海外の国との交流や親交が益々増えていくと思いますので、色々経験をして国際的視野を更に高めていきたいです。

私はこの経験が忘れることが出来ず、次にロータリークラブ主催のシンガポールへの海外研修に参加させていただきました。私がこの研修で一番印象に残ったことは現地の学生の「積極性」です。私たちは現地で交流会を開きましたが、そのときの彼らの行動力には驚きました。なぜなら何にでも積極的にチャレンジして交流会をより面白くするために様々な工夫を凝らしていたからです。私は現地で日本の文化ということで柔道を伝授しました。すると現地の学生さんはどんなことにも質問したり、障害物を置いたら面白いんじゃないかとか、より助走をつけた方が面白いのではないかなどの案を出したりして取り組んでいました。この若い人達の姿勢がシンガポールを発展させている理由の根底にあるのだと身をもって感じました。もう一つ印象的に感じたことはイスラム教の戒律の厳しさです。五行を行わなければいけないこと。またイスラム専用の裁判所があることなど信仰の強さを感じました。その一方で男性が四人の女性とまで結婚できることを知り少し興味をそそられました。

シンガポールは街並みが綺麗で近代的なとても居心地の良い場所でした。

短い期間しか滞在することは出来ませんでした。とても中身の詰まった充実した日々でした。

ところで、今回私たちは予定よりも十二時間遅れてシンガポールに着きました。これは3月11日の東日本大震災による影響で、この震災が世界に及ぼした影響を実感しました。これも貴重な体験だと思います。

私は今年三年生になり進路を決めなければならない大切な時期を迎えています。しかし震災が起き多くの工場が閉鎖せざるをえなくなり、私たちは大きな不安を抱えています。その一方で私は電気の大切さを改めて感じました。もし電気がなければ情報を得ることも暖をとることもできません。改めて考えてみると今、私は生きていく中でとても大切なことを学んでいるのだと思います。私が所属している電気科の先生は「電気の仕事はなくなる」とよくいわれます。この震災でそのことがよく分かりました。東北の復興のため今も必死に働いている電気作業員がいます。このことから電気の仕事の素晴らしさを改めて確認し、また電気科の生徒として「電気」を習っているということをとっても誇りに思います。

私は本当に多くの貴重な体験をさせていただいたと振り返って感じています。海外に行かせていただいたことやこの震災復興の中で進路を決めることも貴重な体験だと思います。

また、このような場所で自分のこれまでの考えをまとめて作文し、初めて発表していることも貴重な体験だと実感しています。しかし、全てのことに先生や親、友達などの誰かの支えがあって、ここまで進んで来ました。

このような素晴らしい高校生活を過ごさせていただいていることを、今まで支えてくださった全ての人に感謝したいです。

最後に私の高校生活を後悔しないよう全力で物事に取り組んでいき、一層充実した高校生活にしていこうと考えています。

8月例会案内

8月5日 ガバナー補佐訪問 (サンルート)

卓話 大島君・広浜君

8月12日 お盆のため休会

8月19日 卓話 辻(英晴)君、岡崎君 (サンルート)

8月26日 18時30分 ガバナー公式訪問 (サンルート)

魚津西ロータリーとの合同夜間例会

8月SAA補助 池上君、中島君 よろしく申し上げます。

委員会の風景 (平成23年7月29日 例会後)



インターアクト委員会



会員委員会



監査会

例会の雰囲気



あとがき

寺崎丸が出航して、早くも一ヶ月が過ぎました。寺崎会長はじめ役員の皆様には本当にご苦労様です。また委員会も多く開催されており、いよいよエンジンがかかってきたように思われます。出席率も2回100%を示すなど、吉森出席委員長のご努力はご苦労様です。

8月はガバナー補佐、ガバナーの公式訪問があります。会員一同睦ましく、和気藹々に、ロータリーの出逢いを楽しみましょう。